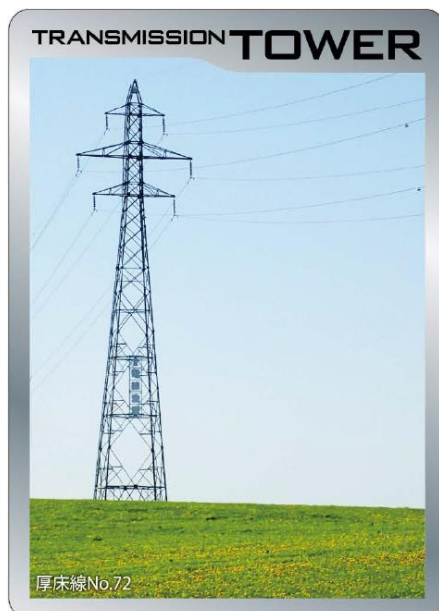


第2弾鉄塔カードについて

(表面)



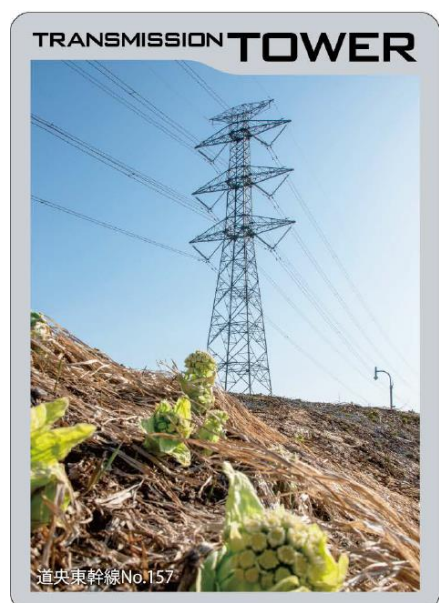
(裏面)

TRANSMISSION TOWER

線路名: 厚床線 あつとこせん
 電圧: 6万6千ボルト
 高さ: 36.6メートル
 重量: 5.9トン
 建設年(竣工): 2000(平成12)年
 所在地: 北海道野付郡別海町 ↑位置情報
 鉄塔型: 懸垂(四角)
 電線線種: ACSR240
 回数: 2回線

鉄塔プロフィール: 牛が人口の8倍を超え、日本有数の大規模酪農地帯である別海町に建設された送電線である。あたりに何も無い根釧台地を經過し冬は過酷な暴風雪に晒される。そして春になれば開拓以来、自然に群生した「たんぼぼ」が野原一面に広がり周囲の茫漠とした情景とともに見る者を圧倒するのだ。

 **ほくでんネットワーク**
一般社団法人 送電線建設技術研究会 北海道支部



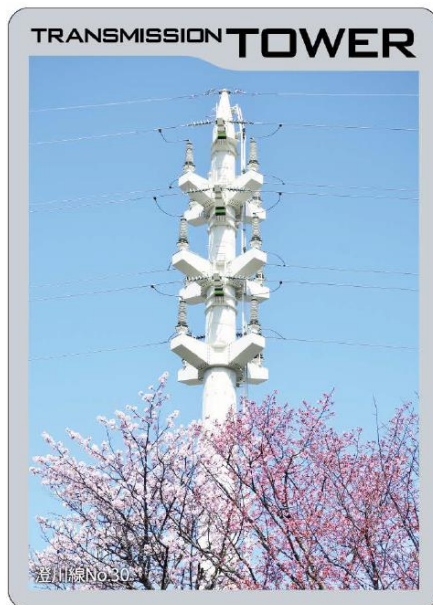
TRANSMISSION TOWER

線路名: 道央東幹線 どうおうがしきんせん
 電圧: 27万5千ボルト
 高さ: 59.9メートル
 重量: 33.2トン
 建設年(竣工): 1980(昭和55)年
 所在地: 北海道岩見沢市 ↑位置情報
 鉄塔型: 懸垂(四角)
 電線線種: TACSR1160
 回数: 2回線

鉄塔プロフィール: 苫小牧東部から岩見沢を経て石狩北部を連系する基幹系送電線で、道央の電力の安定供給を担う「275kV道央ループ系統」の一部。岩見沢は北海道でも積雪が600cmを超える有数の豪雪地帯だ。厳しい冬を越え雪解けと共に力強く伸びる「ふきのとう」のように本道の電気を今日も支えている。

 **ほくでんネットワーク**
一般社団法人 送電線建設技術研究会 北海道支部

(表面)



(裏面)

TRANSMISSION TOWER

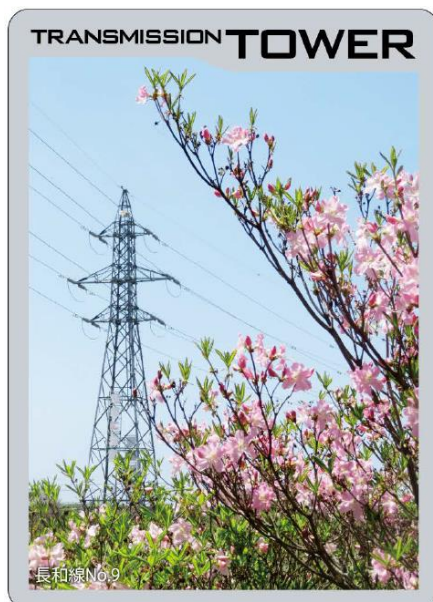
線路名: 澄川線
電圧: 6万6千ボルト
高さ: 41.3メートル
重量: 55.4トン
建設年(竣工): 1987(昭和62)年
所在地: 北海道札幌市
鉄塔型: 耐張
電線線種: TACSR160
回数: 2回線

鉄塔プロフィール: 札幌の中心部を囲む環状通の南東側の中央分離帯にそびえる鋼管柱鉄塔。地中線を分岐し架空電線を接続するケーブルヘッドを搭載してコンパクトな構造としたところ形状が「つくし」のようになった。鉄塔の足下の分離帯には名産だったりんごが並木として名残をとどめ、収穫祭で参加者に配られている。

↑位置情報

ほくでんネットワーク

一般社団法人
送電線建設技術研究会 北海道支部



TRANSMISSION TOWER

線路名: 長和線
電圧: 6万6千ボルト
高さ: 26.3メートル
重量: 5.4トン
建設年(竣工): 1987(昭和62)年
所在地: 北海道伊達市
鉄塔型: 耐張(四角)
電線線種: TACSR330
回数: 2回線

鉄塔プロフィール: 長和線は北海道伊達市を中心とした胆振西部方面の電力供給を担っている。伊達市は「北の湘南」と呼ばれ、一年を通じ温暖な気候で野菜・果物の栽培が盛んだ。ユネスコ世界ジオパークの洞爺湖・有珠山にも近く自然豊かな丘陵地を経過する長和線にも春が訪れ、「つつじ」が今年も見ごろを迎えている。

↑位置情報

ほくでんネットワーク

一般社団法人
送電線建設技術研究会 北海道支部

カードケース 外側



カードケース 内側（カード収納時）

